

つなぎかたガイド

Aterm WG2600HP2

NEC

NWA-A02713-001-00
2016年8月

本書は、読んだあとも大切に保管してください。

ユーザーズマニュアルはサポートデスクに掲載の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。(☞下記「本商品の取扱説明書について」)

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

必ず「メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について」をご確認いただい

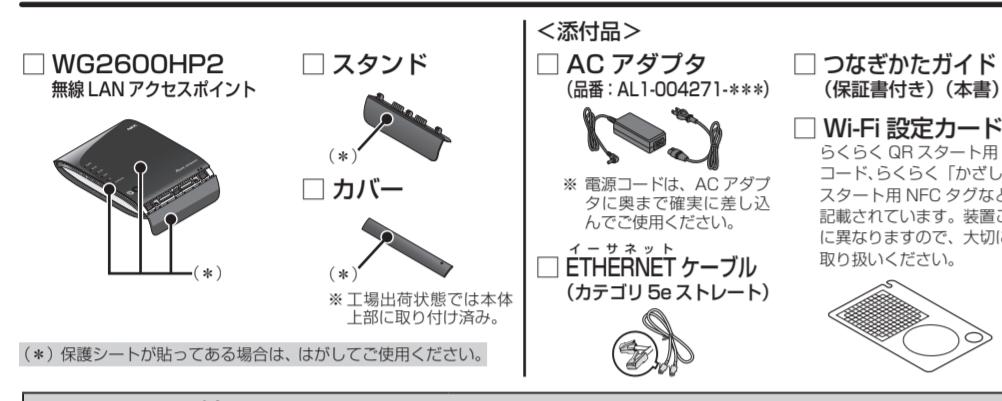
てから、本商品をご利用ください。

(☞裏面「メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について」)

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能が有効の場合、本機能が動作するため必要な情報を NEC プラットフォームズ株式会社が運用するサーバへ通知します。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を停止することができます。

このたびは Aterm WG2600HP2 をご利用いただき、まことにありがとうございます。Aterm WG2600HP2（以下、本商品と呼びます。）は IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b の無線 LAN 規格に準拠した Wi-Fi（無線 LAN）ルータです。

箱の中身をチェックしよう



本商品の取扱説明書について

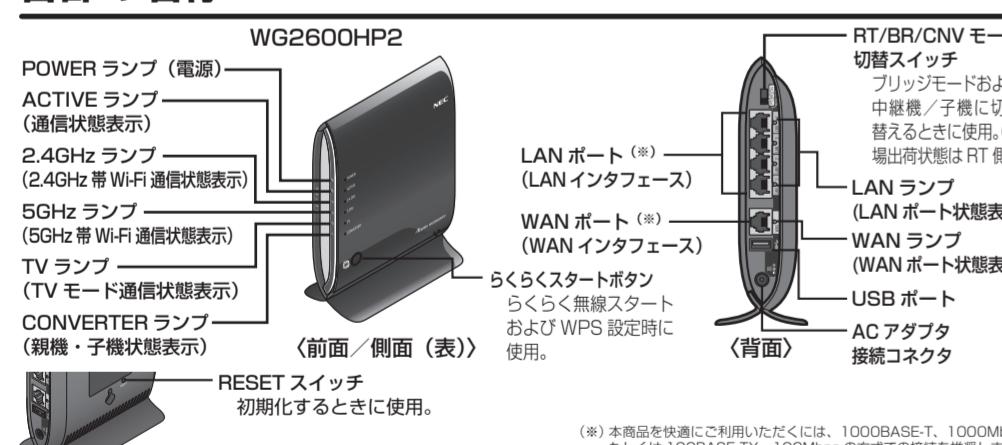
本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。(2016年8月現在)

● つなぎかたガイド (本書)

● ユーザーズマニュアル (Web サイトに掲載)

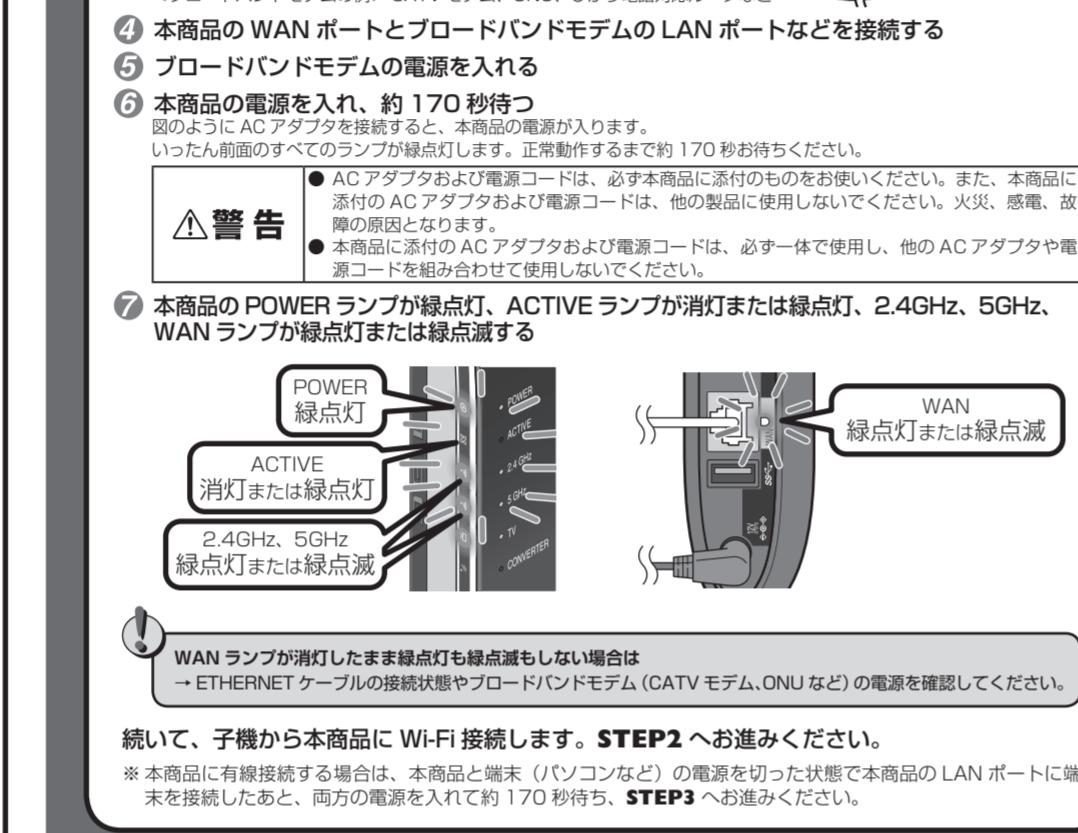
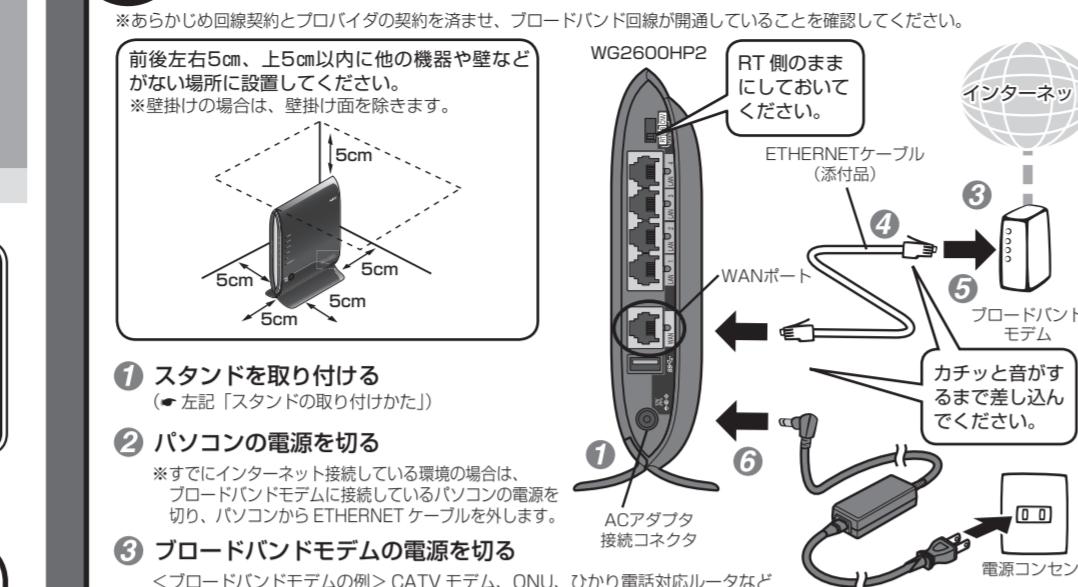
→右記 QR コードまたは下記から参照してください。
 サポートデスク (http://www.aterm.jp/support/) - 「機種名で探す」 - 「WG2600HP2」
 - 「マニュアル」 - 「ユーザーズマニュアル」

各部の名称



STEP

WG2600HP2を設置して電源を入れよう



本商品でできること

本商品は Wi-Fi (無線 LAN) ホームルータとしてだけでなく、中継機や子機として使用したりブリッジモードで使用したりすることもできます。その他にもさまざまな機能があります。詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

下記では、ご利用いただける機能の一部をご紹介いたします。

● 中継機／子機として使用する

本商品は、親機と子機の間で電波を中継（リレー）する中継機として使用したり、LAN ポートにテレビ、パソコン、ゲーム機などの端末を接続して子機（イーサネットコンバータ）として使用したりすることができます。

本商品を中継機／子機として使用するには、下記のように設定します。詳細な設定方法は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

① 本商品を中継機／子機に設定する

→ 本商品の電源を切った状態で RT/BR/CNV モード切替スイッチを CNV 側に切り替え、本商品の電源を入れます。

※ 電源を入れると、いったん前面のランプがすべて緑点滅します。

しばらくして CONVERTER ランプが橙点滅すれば、中継機／子機に設定されます。（緑点滅している場合は中継機能は OFF に設定されています。）

② 本商品から親機に Wi-Fi 接続する（ユーザーズマニュアル）

● 見えて安心ネット

見えて安心ネットでは、本商品に接続された端末情報を確認して管理することができます。

どちらも安心ネットタイマー、Wi-Fi 接続通知などの機能はどちらからご利用いただけます。

● ブリッジモードで使用する

別途ご利用のルータまたはルータ機能内蔵のブロードバンドモ뎀などに本商品を接続する場合は、ブリッジモード（ルータ機能停止）を使用します。

ブリッジモードに設定するには、本商品の電源を切った状態で RT/BR/CNV モード切替スイッチを BR 側に切り替え、本商品の電源を入れます。

※ 電源を入れると、いったん前面のランプがすべて緑点滅します。しばらくして ACTIVE ランプが橙点滅すれば、ブリッジモードに設定完了です。

※ ルータ機能内蔵のブロードバンドモ뎀との接続には本商品の WAN ポートをご使用ください。

RT/BR/CNV モード切替スイッチ

AC アダプタ 接続コネクタ

USB ポート

RESET スイッチ 初期化するときに使用。

(※) 本商品を快適にご利用いただくには、1000BASE-T、1000Mbps もしくは 100BASE-TX、100Mbps の方式での接続を推奨します。

(※) 前面 / 側面 (表)

(※) 背面 / 側面 (裏)

(※) 本商品は、日本電気株式会社の登録商標です。

■ Mac, OS X は、米国およびその他の国における Apple Inc. の商標です。

■ Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

■ PSP (プレイステーション・ポータブル) は、米国 Sony Interactive Entertainment Inc. の商標です。

■ DS Lite は、任天堂の登録商標または商標です。

■ Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社の登録商標です。

■ 「ワイヤレス」は、米国 Cisco Systems, Inc. の登録商標です。

■ 「Wi-Fi Alliance」は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。

■ Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

■ NEC は、日本電気株式会社の登録商標です。

■ NEC Platform, Ltd. 2016 NEC プラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。

STEP

子機から本商品にWi-Fi接続しよう

手順にしたがって本商品に Wi-Fi 接続してください。(接続する子機は、10 台以下をお勧めします。)

スマートフォン／タブレット端末をご利用の場合

らくらく「かざして」スタートで Wi-Fi 接続する

Aterm らくらく「かざして」スタートは、インターネット接続機能（LTE 通信や 3G 通信など）、NFC 機能に対応している末端で、無料でご利用いただけます。ただし、パケット通信料はお客様ご負担となります。利用可能な端末の最新情報は、下記の Web サイトでご確認ください。(2016 年 8 月現在)

http://nfc.setup.aterm.jp

らくらく QR スタートで Wi-Fi 接続する

Aterm らくらく QR スタートは、インターネット接続機能（LTE 通信や 3G 通信など）、NFC 機能に対応している末端で、無料でご利用いただけます。ただし、パケット通信料はお客様ご負担となります。利用可能な端末の最新情報は、下記の Web サイトでご確認ください。(2016 年 8 月現在)

http://qr.aterm.jp

無線 LAN 内蔵パソコンの場合 OS X (Mac) の場合は「その他の子機の場合」を参照してください。

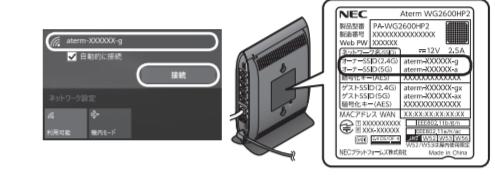
※ Mac の「[コントロールセンター]」を選択してください。

① パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にする
 ※ 設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

② 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンから、ネットワークの一覧画面を表示する



③ ネットワークの一覧の中から、本商品のネットワーク名（SSID）をクリックする
 ※ 本商品の工場出荷状態のネットワーク名（SSID）は、本商品側面のラベルに記載されています。



④ WPS で設定する場合は下記 [手順 A]、手動で設定する場合は下記 [手順 B] で設定する

- Windows 10 の場合、「このネットワーク上の他の PC やデバイスが、この PC を検出できるようになりますか？」と表示されたときは、[はい] をクリックしてください。
- ① 分かりましたとタップする
- ② 無線ネットワーク名（SSID）を選択して[選択] をタップする
- ③ 「[WPS] おサイフケータイ設定」をタップする
- ④ 「Reader/Writer/P2P」を有効にする

【手順 A】WPS で設定する場合

※ 無線 LAN 内蔵パソコン側も WPS に対応している必要があります。

ボタン押下の案内が表示されたら、本商品のらくらくスタートボタン（WPS フラッシュボタン）を長押し（約 6 秒）し、POWER ランプが緑点滅したら放す

しばらくして Wi-Fi 接続が完了すると、POWER ランプが約 10 秒間緑点灯します。



④ Wi-Fi の設定内容が表示されたら、[設定適用] をタップする

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。(iOS 端末の場合は、以降画面にしたがって設定を進めてください。)

インターネット接続設定画面が表示された場合は、画面にいたがって設定してください。

※ 管理者パスワードを要求された場合は、本商品側面のラベルに記載された数字 6 文字のパスワード (Web PW) を入力してください。

設定後、インターネットに接続できれば、完了です。

本商品では、設定用の QR コードをクリック設定 Web で使用される場合は、クイック設定 Web で Wi-Fi 設定内容を変更した場合も、変更した内容の QR コードを表示できます。

③ [Wi-Fi 設定実行] をタップする

以上で Wi-Fi 接続の設定は終了です。

インターネット接続設定画面が表示された場合は、画面にいたがって設定してください。

※ 管理者パスワードを要求された場合は、本商品側面のラベルに記載された数字 6 文字のパスワード (Web PW) を入力してください。

設定後、インターネットに接続できれば、完了です。

本商品の暗号化キーは、本商品側面のラベルに記載されています。

④ 本商品の暗号化キー（セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキー、パスワード）を入力して「次へ」または「OK」をクリックする

※ 本商品の工場出荷状態の暗号化キーは、本商品側面のラベルに記載されています。

⑤ ネットワーク名（SSID）を選択します。

※ 本商品の側面のラベルに記載されています。

※ 本商品には、オーナー SSID の他に、ゲスト SSID (機能) やユーザーネーム (SSID) が記載されています。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

なお、さらに詳細な内容を[ユーザーマニュアル]に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

- 警 告**:人が死する、または重傷^(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注 意**:人が軽傷^(※2)を負う可能性が想定される内容、および物的損害^(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。
- STOP お願い**:本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

(※1) 重傷:失明、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院をするものとしています。
(※2) 軽傷:治療に入院や長期の通院を要しないけが、やけど、感電などをしています。
(※3) 物的損害:家屋、家具および家畜、ペットなどにかかる拡大損害をさしています。



電源

- AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプタは、たこ足配線にしないでください。
- ACアダプタおよび電源コードは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタおよび電源コードは、他の製品に使用しないでください。
- 本商品に添付のACアダプタおよび電源コードは、必ず一体で使用し、他のACアダプタや電源コードを組み合わせて使用しないでください。
- ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- 本商品に添付のACアダプタは日本国内AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所(収納棚や本棚の後ろなど)に設置しないでください。また、ACアダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- ACアダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。

こんなときは

- 以下の場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、Atermインフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき
 - 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき
 - 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり落としたいたとき
 - 電源コードが傷んだ状態(芯線の露出・断線など)のとき
 - 本商品を落としたり破損したとき

禁止事項

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されておりません。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。
- 本商品を分解・改造しないでください。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。
- 本商品の内部や周囲でエアダスター やダストブレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

! 注 意

設置場所

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。

また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本商品は温度0~40°C、湿度10~90%の結露しない環境でご使用ください。
- 本商品を重ね置きしないでください。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。
- 温度変化の激しい場所(クーラーや暖房機のそばなど)に置かないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。
- 通風孔をふさがないでください。次のような使いかたはしないでください。
<悪い例>
 - ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・じゅうたんや布団の上に置く
 - ・テーブルクロスなどを掛けける
- 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。
- ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。
- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずACアダプタ本体を持って抜いてください。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的に(年に1回程度)取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本商品のACアダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後にACアダプタが高温になる場合があります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

その他の注意事項

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品が熱くなることがあります。手で触れるができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま放置しないでください。低温やけどになることがあります。
- 壁掛けで使用している場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などをを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

STOP お願い

設置場所

- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。
- 本商品と子機の距離が近すぎるというデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを1m以上離してお使いください。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、ETHERNETケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行なうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波がある範囲でであれば隣室(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のようないくつかの問題が発生する可能性があります。

- 通常の通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍聴し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報を入手する可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を送ります(なりすまし)
傍聴した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
コンピュータウイルス等を流しデータベースを破壊する(破壊)
等の行為をしてしまった可能性があります。
- 本商品のセキュリティ機能を無効にしたり、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任を一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、無線LANをより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PINコードは定期的に変更することをお奨めします。変更は、クイック設定Webで行います。暗号化キーは「Wi-Fi詳細設定」、PINコードは「WPS設定」の画面で変更してください。

本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品は、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLにしたがい、複製、頒布および改変することができます。詳細は[ユーザーマニュアル]を参照してください。

メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。

「重要な更新」とは、NECラットフォームズ株式会社(以下「当社」とします)が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合(例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など)を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。

メンテナンスバージョンアップ機能が開始されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量課金契約の場合、ソフトウェアによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用をお客様に負担となります。

本機能は、本商品に関する重要なお知らせ、本機能の実現と本商品の機能の改善、向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取扱い手続上に限り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきしても、当社が取り扱い手続と同様に適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に有効になります。本機能に関して許諾いただけない場合は、下記手順で機能を無効(「OFF」)にしてください。ただし、本機能を無効にすることで、セキュリティ上の不具合を改善する重要なソフトウェアの更新であっても、自動的にバージョンアップを行いません。改善前のソフトウェアをそのまま使い続ける場合、悪意のある第三者から不正なアクセスをされる危険がある可能性があります。

<無効にする方法>
①クイック設定Webを起動する(「右記「クイック設定 Webの起動方法」)
②ホーム画面の「詳細な項目を表示」→「その他の設定」を選択する
※「フレジモード」でご利用の場合は、ホーム画面の「基本設定」→「基本設定」を選択します。
※「無線機」子機としてご利用の場合は、ホーム画面の「基本設定」→「基本設定」を選択します。
③「メンテナンスバージョンアップ機能」を「OFF」にする
④「設定」をクリックする

電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合認証を受けています。
- IEEE802.11ac(5GHz)、IEEE802.11a通信利用時は5GHz帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz帯域の電波の外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz帯で使用するチャネルは、36.40,44.48ch(W52)と52.56,60.64ch(W53)と100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch(W56)です。従来のIEEE802.11aで使用できる34,38,42,46ch(J52)の装置とIEEE802.11aモードでの通信はできません。

5GHz帯で接続する機種は、以下の表にあるものを推奨します。
W52 (5.2GHz帯/36.40,44.48ch)
W53 (5.3GHz帯/52.56,60.64ch)
W56 (5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)

IEEE802.11a/n/ac (IEEE802.11a/n/ac)
IEEE802.11b (IEEE802.11b)
IEEE802.11g (IEEE802.11g)
IEEE802.11n (IEEE802.11n)

IEEE802.11a (IEEE802.11a)

IEEE802.11b/g (IEEE802.11b/g)

IEEE802.11g/n (IEEE802.11g/n)

IEEE802.11n/ac (IEEE802.11n/ac)

IEEE802.11a (IEEE802.11a)

IEEE802.11b (IEEE802.11b)

IEEE802.11g (IEEE802.11g)

IEEE802.11n (IEEE802.11n)

IEEE802.11a (IEEE802.11a)

IEEE802.11b (IEEE802.11b)

IEEE802.